

お手本となりました

ボーイスカウト菊スカウト賞取得報告

1/30

ボーイスカウト幸田第3団に所属する南部中学校3年の大木ちえりさんが、ボーイスカウト進歩制度で菊スカウト賞を取得し、その報告に町長室を訪れました。ボーイスカウトの活動では、班制教育、進歩制度、野外活動の3つが大きな教育方針としてあります。菊スカウト賞は、進歩制度の中で、ボーイスカウト隊（中学生年代）が取得できる最高位に位置します。大木さんは平成21年からボーイスカウト隊として活動しています。会議で積極的に意見を出して、リーダーシップを発揮し、ほかの隊員の模範となることで今回の取得に至りました。大木さんは、「中学生になってからは部活との両立が大変だった」と話してくれました。



▲菊スカウト賞を取得した大木さん

ナスの気持ちになってみて

平成29年度NHK全国俳句大会ジュニア大賞受賞報告

2/1

平成29年度NHK全国俳句大会のジュニア部門で、南部中学校3年（受賞時）の稲場一愛さんがジュニア大賞を受賞し、その報告に町長室を訪れました。ジュニアの部には、43,811句の応募作品がありました。稲場さんの作品は「日光に 鍛えられてる 黒い茄子」。選者から中句がかなりユーモラスで、ナスの大変さが分かる句だと評価を受けました。稲場さんは、「夏休み前に、学校の帰り道にあるビニールハウスの黒く輝くナスを見て、夏の日差しに当たる様子が鍛えられているみたいだと感じ、ナスのたくましさや力強さを表現しました」と作品に込めた思いを話してくれました。



▲大賞を受賞した稲場さん

鬼は一そと！ 福はーうち！

菱池保育園 豆まき会

2/2

菱池保育園で節分の豆まき会が行われました。年長児が手作りのお面を被り、鬼になりきって登場！元氣な鬼もいれば、少し恥ずかしそうな鬼もいました。年中児と年少児は自分の心の中の好き嫌い鬼や散らかし鬼、怒りんぼ鬼などを退治するために一生懸命豆を撒いていました。最後に先生が鬼役をしている中、本物の鬼がやってきて園児たちは大パニック。しかし、みんなで勇気をふり絞り、力を合わせて鬼をやっつけることができました。



▲鬼の自己紹介「私は怒りんぼ鬼だー！」



▲みんなで鬼をやっつけるぞ！

まちがと

身近な情報を広報へ

小学生が模擬投票を体験

選挙出前トーク

2/5

町の選挙管理委員会が深溝小学校の6年生を対象に選挙の授業を行いました。選挙の仕組みについて説明をした後、職員2人が立候補者となって演説し、どちらの演説が良かったか児童たちが模擬投票しました。受付の名簿でチェックを受け、投票用紙を交付してもらい、投票用紙に記入、本物の投票箱に投票をしました。受付や交付係なども児童たちの手で行われ、実際の流れを学びました。



▲交付機で投票用紙を交付します



▲本物の投票箱へ、いざ投票！

触って飛び出す絵本アプリを体験

i Pad絵本アプリ「カラクリBOOKS」実演授業

2/7

大草の浄土寺を舞台にした民話「茶つぼのなみだ雨」をi Padを使って知ってもらう実演授業が幸田小学校で行われました。このアプリ「カラクリBOOKS」を企画した筒井潔さんと絵を描いた山田ももこさんが、触ると物や人が動く仕掛けを説明し、児童たちは楽しく民話を学ぶことができました。筒井さんは「民話を聞いて育ったお年寄りの世代と新しいものが好きな子どもの世代をつなぐものになってほしい」と話しました。



▲iPadで見る絵本に興味津々



▲カラクリBOOKSの説明をする筒井さん

笑顔いっぱいの交流会

坂崎保育園 お年寄りとの交流会

2/8

坂崎保育園で園児が老人クラブの会員・いきいきサロンの参加者との交流会を開催しました。園児たちは順番にステージに上がり、発表会で行った歌や鍵盤ハーモニカの演奏を披露しました。参加したお年寄りたちは、園児たちの一所懸命な姿に笑顔で拍手を送りました。その後は、園児たちが肩たたきをしてお年寄りと触れ合うなど、笑顔いっぱいの交流会となりました。



▲演奏を披露する園児たち



▲園児たちのステージに拍手を送る参加者

まちがとフォトニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

 広報直通ダイヤル(63)5132
 FAX(63)5139

みんな仲良く元気よく！

保育園人権集会

2/8

豊坂保育園、深溝保育園、里保育園、幸田保育園で人権擁護委員による保育園人権集会が開催されました。幸田保育園では腹話術人形と紙芝居を使って、思いやりの心や、かけがえのない命があることを教えていました。腹話術人形の「ケンちゃん」からなぞなぞが出題されると、園児たちは元気よく答えていました。紙芝居では、ほかの人との違いを認めることや、相手を思いやることを学びました。最後にえこたんが登場すると、園児たちは大喜びでした。



▲人権擁護委員による紙芝居



▲なぞなぞの答えが分かって喜ぶ園児たち

心を一つに記録に挑戦

豊坂小学校 なわとび大会

2/14

豊坂小学校でなわとび大会が開催されました。長なわの部では、学年ごとに決めた課題種目と学級ごとに決めた選択種目に挑戦し、学級で決めた目標回数の達成を目指しました。6年生の2クラスは、長なわの全員跳びで過去の大会記録超えに挑みました。惜しくも記録達成とはなりませんでしたが、目標を目指してチャレンジすることで、クラスの絆が深まったようです。



▲タイミングを合わせて、ナイスジャンプ！



▲クラスで心を一つにして、全員跳び！

若手農家グループ、冬の陣！

旬果集稲 幸田駅前銀座朝市

2/15

幸田町の若手農家を中心としたメンバーで結成された「旬果集稲」が幸田駅前銀座で朝市を開きました。この朝市は9月に引き続き2回目となり、ミカン、サツマイモ、トマト、ラン、米などの旬な農産物が販売されました。寒い中でしたが、完売する農産物が多数あり大盛況となりました。「生産者から直接農産物を買うことができうれしかった」とお客様の喜ぶ姿が印象的でした。



▲町の農産物がズラリと並びます



▲軽トラック1台をまるごと使った売り場

まちがと

身近な情報を広報へ

プロの演奏会をお届けします

音楽宅配事業

2/21

幸田町文化振興協会が主催する音楽宅配事業「ヴァイオリンとピアノの音を楽しもう」が町内6小学校で開催され、ヴァイオリン奏者の北島佳奈さんとピアノ奏者の加地美秀子さんが各小学校を訪問し、2年生の児童たちの目の前でプロの演奏を披露しました。荻谷小学校では、児童から「この曲も弾けますか」とのリクエストに答えて即興で演奏してくれ、大きな拍手が沸き起こりました。



▲ヴァイオリン奏者の北島さん（左）とピアノ奏者の加地さん（右）



▲目の前での演奏を楽しむ児童たち

陸上を通じて国際交流

JICA派遣帰国報告式

2/22

青年海外協力隊員として、JICAからエチオピアに派遣されていた小山哲ノ介さんが、2年の任期を終え、帰国後に町長室を訪れました。小山さんはエチオピア陸上連盟でナショナルチームの指導やスポーツ教室を通して陸上競技の普及に尽力しました。小山さんは、「アフリカジュニア選手権で指導した短距離チームが同国陸上競技史上初の金メダルを含む15個のメダルを獲得し、選手やコーチから感謝されたことがうれしかった」と話してくれました。



▲エチオピアから帰国した小山さん



▲現地での練習風景（小山さん提供）

最高の思い出と仲間ができました

平成29年度幸田町子ども会大会

2/25

幸田町子ども会大会を中央公民館ホールで開催しました。町内子ども会の発展および活動に貢献した人たちを対象とした子ども会育成成功労者表彰と書き初め入選者表彰を行った後、代表者3人による体験発表が行われました。岩堀南部子ども会の稲石陸人くんは、ソフトボールの思い出について話し、「皆さんも最高の思い出を作ってください」と会場にいた後輩たちに呼び掛けました。



▲書き初め入選の表彰を受けた内海紗英さん



▲体験発表を行った稲石くん

まちがと
フォト
ニュース

E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

FAX(63)5139

広報直通ダイヤル(63)5132